

Ⅱ 地域保健推進

1 広報普及啓発

(1) 保健所だより

保健衛生の正しい知識の普及、保健衛生活動の啓発、事業の紹介を目的として各出張所の状況に応じて次のとおり発行した。

保健所だよりの発行部数（表Ⅱ-1-1）

大島出張所	三宅出張所	八丈出張所	小笠原出張所
年 4 回 発行 1回 6,900 部	年 4 回 発行 1回 1,900 部	年 4 回 発行 1回 5,000 部	年 4 回 発行 1回 1,470 部

(2) 事業概要

保健所の事業内容及び事業実績を取りまとめ、関係機関へ配布した。

(3) 各町村健康まつり等への協力参加

町社会福祉協議会や村主催の健康まつり等において保健所コーナーを設置し、保健所事業を積極的に展開することで、地域保健活動への認識を積極的に深め、住民自らが健康への関心を高める機会を提供するとともに、保健所事業をPRする広報活動の場として活用した。

健康まつり等への参加状況（表-Ⅱ-1-2）

出張所名	まつり等名称	開催年月日	参加数(人)	内 容
大島出張所	健康・福祉まつり (神津島)	令和4年 11月12日	262	パネル展示（健診・検診受診の勧め、動物の飼い方、ペットも守る防災対策、適正な塩分摂取）等

2 情報公開

「東京都情報公開条例」が平成12年1月1日に施行され、都の情報公開制度のなかで、保健所においても住民やその他関係機関からの公文書開示請求等に対応している。

請求件数 79件

3 統計調査

統計法に基づく基幹統計をはじめ、地域保健対策の基礎的資料として必要とされる各種統計情報を収集し定められた関係機関へ提出している。

統計調査実施状況(表Ⅱ-3-1)

名称	目的	実施周知等	統計種別	令和					
				平成30	元	2	3	4	5
人口動態調査	毎月発生する出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の状況を把握し、厚生労働行政施策の基礎資料を得る。 ※国勢調査実施年には職業・産業調査が加わる。	通年実施	全数調査 (基幹統計)	○	○	○(※)	○	○	○
国民生活基礎調査	保健、医療、福祉、年金等国民生活の基礎的事項について、世帯面から総合的に把握し、厚生労働行政施策の基礎資料を得る。大規模調査は3年周期、その中間年に行う小規模調査がある。令和2年は中止となった。	3年周期 大規模調査の 中間年	標本調査 (基幹統計)		○			○	
	小規模調査			○		中止	○		○
医療施設調査	医療施設(病院/診療所/歯科診療所)の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、その診療機能を把握し、医療行政施策の基礎資料を得る。	通年実施 (翌月10日)	全数調査 (基幹統計)	○	○	○	○	○	○
	静態調査	動態調査は通年、静態調査は特定時点で行う。							
患者調査	医療施設(病院/診療所)を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政施策の基礎資料を得る。	3年周期	標本調査 (基幹統計)			○			○
受療行動調査	一般病院を利用する患者について、受診の状況や受けた医療等に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政施策の基礎資料を得る。	3年周期	標本調査 (一般統計)			○			○
医師・歯科医師・薬剤師等調査	医師、歯科医師及び薬剤師等の従事場所及び診療所科名等による分布を明らかにし、医療行政及び公衆衛生行政施策の基礎資料を得る。	2年周期	全数調査 (一般統計)	○		○		○	
21世紀成人者縦断調査	結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の基礎資料を得る。	毎年実施 ※H21年から 本人に直送	標本調査 (一般統計)	-	-	-	-	-	-
中高年者縦断調査	健康、就業、社会活動について、意識面、事実にの変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の基礎資料を得る。	毎年実施 ※H21年から 本人に直送	標本調査 (一般統計)	-	-	-	-	-	-
社会保障・人口問題 基本調査	社会保障及び人口問題に関する事項について調査し、分析を行うとともに、厚生労働行政等における各種の施策に資する基礎資料を得る。5つのテーマを5年周期で行っているが、令和5年は「人口移動調査」の実施年である。	毎年実施 (5つの テーマを 5年周期)	標本調査 (一般統計)	○	○	中止	○	○	○
業務報告	局事業の数量的把握を図るとともに、局の施策の基礎資料とする。 地域保健・健康増進事業報告 衛生行政報告例	通年実施	各町村及び 各出張所 (一般統計)	○	○	○	○	○	○

4 教育・研修

(1) 衛生教育

保健所では、保健衛生に関する理解と関心を高め、健康で快適な日常生活を過ごせる地域づくりを目的に、地域住民・営業者・関係機関等を対象とした講習会等を通じ、衛生教育を行っている。

衛生教育実施状況 (表Ⅱ-4-1)

単位：回数 (参加人数)

	結核・感染症	精神	難病	母子	成人・老人	栄養・健康増進	食品	環境	その他
合計	10(128)	10(135)	4(53)	-	-	38(768)	43(928)	23(686)	-
大島出張所(計)	4(31)	4(62)	2(24)	-	-	19(411)	20(478)	18(454)	-
大島出張所	-	2(25)	-	-	-	9(224)	10(243)	11(349)	-
新島支所	3(9)	-	1(8)	-	-	5(121)	4(122)	3(50)	-
神津島支所	1(22)	2(37)	1(16)	-	-	5(66)	6(113)	4(55)	-
三宅出張所	1(15)	3(42)	1(15)	-	-	5(85)	9(121)	3(76)	-
八丈出張所	-	1(10)	1(14)	-	-	9(213)	9(256)	2(156)	-
小笠原出張所	5(82)	2(21)	-	-	-	5(59)	5(73)	-	-

(2) 研修・実習生の受け入れ

保健医療関係者の公衆衛生についての理解を深めるため、大学等の依頼に基づき研修生や学生を受け入れ、保健所の事業説明や公衆衛生活動の実践指導を行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

出張所名	対象者	実施月日	受入数	内容
-	-	-	-	-

5 補助金審査事務

各種補助金の交付申請書等の審査を通じて、管内町村の地域保健活動の状況等を把握し、町村との連携・支援の強化に資することを目的に、各種補助金の審査業務を行っている。

補助金審査事業実施状況 (表Ⅱ-5-1)

補助事業名	申請町村
健康増進法等による健康増進事業	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村の9町村
定期予防接種	
医療保健政策区市町村包括補助事業 (休日急病診療事業を含む)	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、小笠原村の8町村

6 関係機関連携

関係機関連携（表Ⅱ-6-1）

出張所（町村）別		内 容	備 考
大島出張所	大島町	大島管内町村保健師業務連絡会（※大島出張所管内合同） 大島町保健師業務連絡会 大島町養護教諭会 大島町立学校結核対策委員会 大島町要保護児童対策地域協議会及び実務者会議 大島町就学支援委員会 大島町高齢福祉包括地域ケア会議 大島町高齢者虐待防止地域連絡委員会 大島町障害者自立支援協議会 大島町引きこもりグループ連絡会 大島町地区別懇談会 黒潮作業所入所判定委員会 大島医療センター運営協議会 民生児童委員等大島地区連絡協議会 大島管内栄養業務担当者連絡会（※大島町・利島村合同） 大島町栄養士会	※保健師関係機関（会議）は91頁（表Ⅳ-8-1）に一部再掲
	利島村	利島村保育園連絡会 利島村診療所連絡会 利島村民生委員連絡会 精神事業（イブニングケア）	
	新島村 （新島支所）	官公庁連絡協議会 新島村民生・児童委員協議会 式根島ケア会議、新島ケア会議 新島村介護認定審査会、新島村障害支援区分判定等審査会 児童関係機関新島地区連絡協議会 新島村要保護児童対策地域協議会代表者・実務者合同会議 新島村養護教諭部会 新島村・保健所保健師連絡会 新島村保健・医療・福祉地域関係者会議 新島村行政栄養士業務連絡会 新島村栄養士業務連絡会 新島栄養食生活ネットワーク会議 新島栄養食生活ネットワーク会議ワーキンググループ	
	神津島村 （神津島支所）	保健センター・保健所所保健師業務連絡会 神津島村障害者自立支援協議会 神津島村地域サービス担当者会議 神津島村地域ケア会議 神津島村介護認定審査会 神津島村障害支援区分判定等審査会 子ども家庭支援ネット会議 神津島村子ども家庭支援センター運営協議会 神津島村要保護児童対策地域協議会 神津島村立小中学校養護部会 神津島村民生・児童委員定例協議会 神津島村特別支援教育推進協議会 多職種カンファレンス 神津島村防災会議 神津島村行政栄養士連絡会 神津島村栄養士連絡会 村役場・保健所 神津島における飼い主のいない猫対策会議 神津島村団团长懇話会	

三宅出張所	三宅村	<p>村福祉健康課・保健所連絡会 三宅村・保健所保健師連絡会 医療連携地域ケア会議 要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議 三宅村介護認定審査会 三宅村障害者自立支援協議会 三宅村障害支援区分判定等審査会 三宅村老人ホーム入所判定委員会 三宅村新型コロナウイルス感染症対策本部会議 新型コロナワクチン接種検討会 管内栄養士連絡会（三宅村・御蔵島村合同） 三宅村民生児童委員協議会 保健担当者会（養護教諭との連絡会）</p>	※保健師関係機関（会議）は91頁（表IV-8-1）に一部再掲
	御蔵島村	<p>村・保健所保健師連絡会 新型コロナウイルス感染症検討会 管内栄養士連絡会（御蔵島村・三宅村合同）</p>	
八丈出張所	八丈町	<p>八丈町・保健所保健師業務連絡会 八丈町介護保険運営協議会 八丈町介護認定審査会 八丈町地域ケア会議 八丈町老人ホーム入所判定委員会 八丈町要保護児童対策地域協議会 八丈町地域包括支援センター運営協議会 八丈町地域密着型サービス運営協議会 八丈町子育て支援ネットワーク会議（要保護児童対策地域協議会実務者会議） 八丈町健康と長寿の島づくり推進協議会食育推進部会 八丈町障害支援区分判定等審査会 八丈町自立支援協議会 精神保健福祉業務連絡会 八丈島新型インフルエンザ対策連絡会 保育園園長会 八丈町立学校教育研究会・保健部会 八丈出張所管内栄養士会（八丈町・青ヶ島村合同） 栄養・食生活ネットワーク会議（八丈町・青ヶ島村合同） 八丈町給食センター運営審議会 地下水保全審議会 町立八丈病院運営協議会 町立八丈病院感染症対策委員会 八丈町夏期対策懇談会</p>	※保健師関係機関（会議）は91頁（表IV-8-1）に一部再掲
	青ヶ島村	<p>青ヶ島村・保健所保健師業務連絡会 精神保健福祉業務連絡会 精神関係者会議（精神巡回相談） 八丈出張所管内栄養士会（青ヶ島村・八丈町合同） 栄養・食生活ネットワーク会議（青ヶ島村・八丈町合同）</p>	
小笠原出張所	小笠原村	<p>民生委員児童委員協議会 小笠原村地域ケア会議 小笠原村介護認定審査会 小笠原村自立支援協議会 小笠原村要保護児童対策地域協議会及び地区連絡協議会 保健サービス連絡会 居場所づくり事業運営会議 小笠原健康栄養連絡会 小笠原村保健師等連絡会 小笠原精神科救急患者対策四者連絡会 おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会 小笠原村障害支援区分判定等審査会</p>	※保健師関係機関（会議）は91頁（表IV-8-1）に一部再掲

7 各種関係機関・会議

関係法令及び要綱に基づき、保健所・地域保健医療圏域単位、町村別の会議を下記のとおり設置し、別表(Ⅱ-7-1)のとおり開催した(1)、(2)、(3)の委員名簿についてはV附属機関等名簿参照。

(1) 島しょ地域保健医療協議会(総務課所管)

地域特性等を踏まえた総合的な保健医療施策を計画的に推進し、保健衛生の向上と健康で安全な地域づくりをを図ることを目的に、地域保健医療協議会設置要綱に基づき二次保健医療圏毎に設置されている。平成16年4月、従来の地域保健医療推進協議会と保健所運営協議会とを統合し、本協議会が新たに設置された。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、書面開催とした。主な議事内容は、表Ⅱ-7-1「各種会議開催状況」のとおり。

(2) 島しょ地域保健医療協議会・幹事会(総務課所管)

島しょ地域保健医療協議会がその機能を十分発揮できるよう、協議会を補佐するために、島しょ地域保健医療協議会・幹事会運営要領に基づき設置している。平成29年8月に、従来の幹事会を見直し、要領の一部改定を行った。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、書面開催とした。主な議事内容は、表Ⅱ-7-1「各種会議開催状況」のとおり。

(3) 島しょ保健所町村連携会議(総務課及び各出張所所管)

平成29年8月に、島しょ地域保健医療協議会・幹事会運営要領の一部改定を行い、これまで実施していた総務課及び各町村単位の幹事会については、島しょ保健所が保健医療の推進を図る連携会議として実施することとし、島しょ保健所町村連携会議運営要領を制定した。令和4年度の開催日程及び主な議事内容は、表Ⅱ-7-1「各種会議開催状況」のとおり。

(4) 感染症地域医療体制ブロック協議会(総務課所管)

新型インフルエンザ等の大流行に際して、健康被害を最小限に抑えるために、適切な医療を提供する体制の整備を促進することを目的に、新型インフルエンザ等感染症地域医療体制整備事業実施要綱に基づき、ブロック毎に設置されている。令和4年度の開催日程及び主な議事内容は、表Ⅱ-7-1「各種会議開催状況」のとおり。

(5) 精神保健福祉対策連絡会(総務課所管)

精神科救急が発生した際に円滑な対応を行うために、ルール等の確認や搬送に関わる局内の他部署との連携を図るために、平成23年度より「島しょ保健所における精神科救急連絡会」(所内会議)として発足し、平成25年度からは、島しょの救急事例には欠かせない精神保健・医療課と救急災害医療課の担当者を加えて「精神保健福祉対策連絡会」として設置された。令和4年度の開催日程及び主な議事内容は、表Ⅱ-7-1「各種会議開催状況」のとおり。

各種会議の開催状況（表Ⅱ-7-1）

会議名		開催日	出席者数	開催場所	主な議事内容
地域保健医療協議会		書面開催	—	—	1 令和4年度島しょ保健所町村連携会議開催実績について 2 課題別地域保健医療推進プランの取組について (1) 三宅村及び御蔵島村における喫煙状況等に関する実態把握（令和3年度事業） (2) 島しょ地域における超急性期災害時保健所活動整備事業（令和4・5年度事業）
地域保健医療協議会 ・幹事会		書面開催	—	—	1 令和4年度島しょ保健所町村連携会議開催実績について 2 課題別地域保健医療推進プランの取組について (1) 三宅村及び御蔵島村における喫煙状況等に関する実態把握（令和3年度事業） (2) 島しょ地域における超急性期災害時保健所活動整備事業（令和4・5年度事業）
島しょ保健所町村連携会議	大島町	令和4年 11月30日	12名	大島支庁 (仮庁舎)	1 新型コロナウイルス感染症関係 2 課題別地域保健医療推進プランの取組について (1) 三宅村及び御蔵島村における喫煙状況等に関する実態把握（令和3年度事業） (2) 島しょ地域における超急性期災害時保健所活動整備事業（令和4・5年度事業） 3 その他
	利島村	令和4年 12月1日	9名	利島村役場 会議室	
	新島村	令和4年 12月19日	10名	新島支所	
	神津島村	令和4年 12月20日	8名	神津島支所	
	三宅村	令和4年 11月25日	12名	三宅出張所	
	御蔵島村	令和4年 11月24日	6名	御蔵島村役場	
	八丈町	令和4年 10月18日	11名	八丈出張所	
	青ヶ島村	令和4年 12月16日	—	書面開催	
	小笠原村	令和4年 11月21日	12名	地域福祉 センター	

<p>感染症地域医療体制 ブロック協議会</p>	<p>令和5年 1月26日</p>	<p>24名</p>	<p>島しょ保健所 総務課会議室 (WEB併用)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症の発生状況と主な対応 2 管内のクラスター発生状況と対応について ミニ講義 「高齢者施設におけるクラスター発生時対応と予防対策」 国立病院機構本部日本DMAT事務局 赤星 昂己先生 3 新型コロナウイルス感染症の対応について (情報交換) 4 その他
<p>精神保健福祉対策 連絡会</p>	<p>令和4年 10月28日</p>	<p>26名</p>	<p>島しょ保健所 総務課会議室 (WEB併用)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 島しょ保健所における精神保健福祉対策連絡会について 2 各島の精神科医療の現状 3 各島における入院支援の実績 4 小笠原出張所における精神科救急の現状 5 島しょ地域における精神科入院支援について (23条、34条、救急搬送、行政搬送) 6 島しょ地域における精神科病状悪化事例の対応図(案)について 7 意見交換 8 その他

8. 課題別地域保健医療推進プラン

島しょ地域における超急性期災害時保健所活動整備事業	
島しょ保健医療圏	
実施年度	開始 令和4年度 終了(予定) 令和5年度
背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島しょ地域では、従来より噴火、地震、津波、風水害など様々な自然災害のリスクを抱えている。具体的には伊豆大島の三原山が前回の噴火から35年以上経過し、過去の周期から噴火が近々起こりえる点、南海トラフ地震及び首都直下地震が今後30年以内に70%の確率で発生する点、地震発生に伴い津波の被害を各島で受けるリスクが高い点が挙げられる。また、近年では、平成25年の伊豆大島での土砂災害、近隣地域において令和3年の熱海市伊豆山の土砂災害が発生しており、大規模な被害を及ぼす風水害の危険性も高まっている。 ○ 一方で、島しょ地域は、保健、医療ともに人的及び物的資源に限りがあり、また発災時には、本土からの支援を受けるまで時間を要し、交通路となる海路、空路ともに寸断されるリスクがある。そのため、特に超急性期(発生72時間以内、フェーズ0~1)は本土からの支援を得ずに、島しょ地域での限られた資源の中で災害対応を行う事態が起こりえる。 ○ 島しょ保健所では、「災害時における島しょ保健所活動マニュアル」を定め、改訂を図り運用を行っているが、個々の職員が発災時に求められる行動をより明確にし、組織として災害時の活動を円滑に行えるように事前準備する必要がある。 ○ 島しょ保健所での災害時保健活動の基盤を作った上で、各島しょ町村の地域防災計画を元に、町村と災害時保健活動の連携を更に強化する必要がある。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画全体では、島しょ地域での災害時保健活動を保健所内に加え、各町村等の関係機関との連携も含めて整備することを目標とする。 ○ 令和4年度は、保健所内での各職種の災害時の行動をより明確化し、保健所内の災害時保健活動体制を整備することを主な目標とする。
事業内容	<p>【全体計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保健所内の災害時保健活動を整備し、大島出張所での取組を他の3出張所とも共有し、島しょ全体での災害時保健活動の整備強化を図る。 ○ 各町村の地域防災計画を元に、各町村の災害時保健活動で整備すべき点を抽出し、町村での災害時保健活動をより具体的に連携していく。 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時保健活動の専門家を大島に招き、現地視察、講習会、意見交換を通じて、職員の災害対応に関する知見と意識を高め、大島また島しょ地域における保健所での災害対応の課題を抽出した。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当初の計画では、令和4年度中にアクションカードの作成や運用訓練等も実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症対応のため、計画の大部分を遂行できなかった。 ○ 令和4年度の成果としては、講演会等を通じて、職員の災害対応に関する知見と意識を高め、プラン全体計画の実現に向けた下地の一部を作ることができた。 ○ 令和5年度は、新島支所・神津島支所にも専門家を招き、各島の特性に応じたアドバイスを受けつつ、前年度中に実現できなかった取組を進め、災害時の保健所活動体制を整備する。

